

外部専門家のコンサルタント的活用による授業改善の取組



刈谷市立刈谷特別支援学校第3回実践研究協議会 第2分科会

研究の背景

障害の重度・重複化

障害の多様化

実態に応じた指導・支援の困難さ

学習指導要領

専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求める

外部専門家との連携

研究の目的

外部専門家のコンサルタント的活用



授業改善

コンサルタント的活用

コンサルタント

企業経営などについて相談を受け、診断・助言・指導を行うことを職業としている専門家

デジタル大辞泉より

コンサルタント的活用

コンサルタント 的

児童生徒の実態把握や評価などについて相談を受け、診断・助言・指導を行うことを職業としている専門家

外部専門家

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

リハビリテーション科



理学療法士

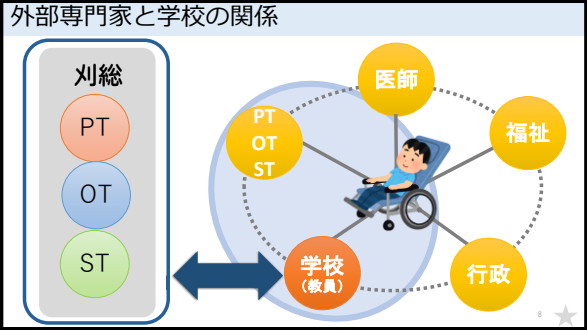
作業療法士

言語聴覚士

刈総豊田総合病院 → 刈総

療法士

理学療法士 = Physical T herapist
PT
作業療法士 = Occupational T herapist
OT
言語聴覚士 = Speech T herapist
ST



学校の外部専門家の導入

教員の資質向上を目指した連携

刈総療法士とのケーススタディ

ケーススタディ開始前

研修の様子 (R1.6.20)

講義形式の研修

・子どものリハビリテーションにおける医師、療法士の役割、業務内容

刈総療法士との打合せ

・どの教員も外部専門家と関わる形

・一般的な学習スタイル

↓

ケーススタディを計画

刈総療法士とのケーススタディ

令和元年度 第1回の様子

内容

子どもの事例動画を見ながら、意見や考え方を出し合う

名称

ケース会、事例検討会

教員の資質向上↓

「ケーススタディ」

事例

抽出、もしくは希望事例の中から、事前打ち合わせで決定

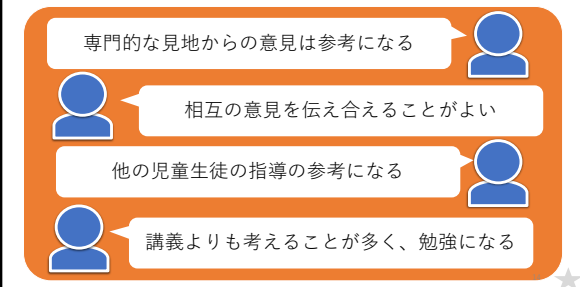
第1回刈総療法士とのケーススタディ

令和元年 9月26日	
事 例	2 事例 小・中高等部の二つのグループ 各事例 6 0 分
進 行	刈総療法士
方針等	一人 1 回の発言

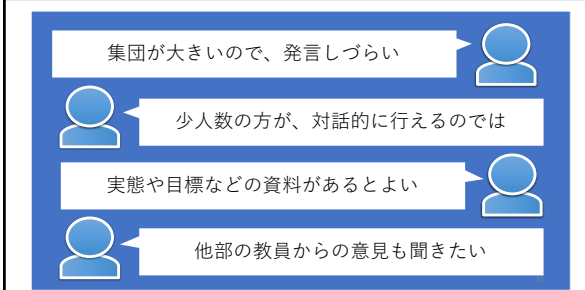
第1回ケーススタディの様子 (R1.9.26)



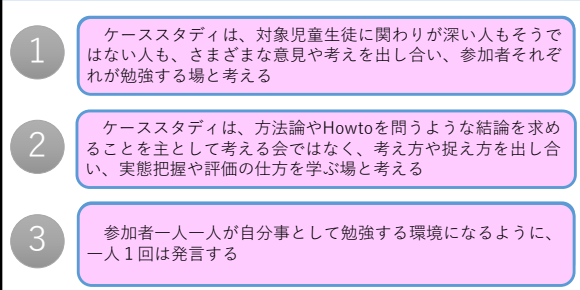
第1回ケーススタディを終えて



第1回ケーススタディを終えて 課題



次回ケーススタディへの改善点 ～方針～



第2回刈総療法士とのケーススタディ

令和元年 12月12日	
事例	8事例 クジで3グループに分ける 各事例25分
進行	教員
方針等	参加者それぞれが勉強する場 実態把握や評価の仕方を学ぶ場 一人1回発言

第2回ケーススタディの様子 (R1.12.12)



第2回ケーススタディを終えて

雰囲気がよく、話しやすかった

全員が「発言しよう」という姿勢

複数の事例の実践を知り参考になった

様々な参加者による多様な視点や意見

第3回刈総療法士とのケーススタディ

令和2年 8月26日

事 例 9事例
経験者等均等に3グループに分ける
各事例25分

進 行 教員

方針等 参加者それぞれが勉強する場
実態把握や評価の仕方を学ぶ場
一人1回発言

第3回ケーススタディの様子 (R2.8.26)



第3回ケーススタディを終えて

昨年度からの積み重ねが感じられた

見通しがもてた、安心できた、心強い

もっと多面的にとらえたい

記録をまめにとり、改善していきたい

第3回ケーススタディを終えて 課題

25分が短く感じた、時間が足りない

専門家に合った事例が出せるとよい

希望の専門家のグループに参加したい

提案内容を明確に伝えられるとよい

第4回刈総療法士とのケーススタディ

令和2年 12月12日

事 例 6事例を3グループに分ける
各事例50分
※間に10分間療法士同士の打合せ

進 行 教員

方針等 第3回までの方針
提案内容を明確にする
参加者は、前もって事例動画等を視聴

第4回ケーススタディを終えて

時間がちょうどよく、話が深められた



様々な意見を聞いて多面的に考えられた

もっと家庭や専門家と連携していきたい



連携の方法を相談したい



まとめ

ケーススタディの
有効性

外部専門家との
連携の成果

資質、専門性の
向上

授業改善

まとめ

外部専門家のコンサルタント的活用

刈総療法士とのケーススタディ



授業改善

27